東日本ユニオンにいがた

JR東日本労働組合新潟地方本部
２０１７年６月１０日発行
第２９号（通巻第６１号）
発行者：岡村広志　編集者：教育・広報部
http://www.geocities.jp/higashinihonunion_niigata/

安定した冬期輸送実現を目指し申し入れ

新潟地本は5月25日、申10号として、２０１６年度冬期検証に関する申し入れを提出しました。
安全で安定した冬期輸送の実現に向けて、職場から議論を創り出しましょう。

２０１６年度冬期は全体としては小雪であったにも関わらず、Ｅ１２９系の車両性能に起因する輸送障害をはじめとして、慣例化された上越線・只見線の除雪体制に端を発した運休など、お客さまに多大なご迷惑をおかけする事態を招きました。

これらは、この間労使で継続して議論を重ねてきた課題であり、設備投資の優先順位や冬期体制について実態に合わせた見直しを大胆に行うことが求められます。

また、冬にこそご利用頂ける鉄道を実現するためには、申６号「お客さま・社員の命を守る運行体制の確立を求める緊急申し入れ」の団体交渉で議論した、要員を含めた設備系統の現場社員の作業実態改善や、申３号「Ｅ１２９系運用に伴う輸送障害の解消に向けた緊急申し入れ」の各項目、そして今冬期に立ち現れた課題を一つひとつ解決していくことが必要です。

２０１７年度冬期に同事象を繰り返させない為に新潟地本は5月25日、申10号として、２０１６年度冬期検証に関する申し入れを提出しました。

申10号　申し入れ項目

【要員・取扱い関係】
1. 冬期体制を12月1日からとすること。
2. 越後湯沢駅の冬期要員の見直しをすること。
3. 雪を抱えて停車した際、乗務員が除雪を行うことに対する考え方を明らかにすること。
4. 降積雪時の軌間内除雪を徹底すること。
5. 降雪時の西新発田駅裏1番線、黒山駅裏1番線の除雪を万全とし雪を抱えて停車することが無いようにすること。
6. 1月15日～18日１５８Ｍにおいて寺泊駅下1番線で後3両締切扱いをした根拠を明らかにすること。
7. 1月16日及び1月25日の輸送障害に踏まえ、上越線六日町～越後湯沢駅間における除雪体制を見直すこと。

【事象関係】
1. 3月29日に発生した只見線大白川～只見間２４２２Ｄ雪の塊と衝突した事象の根本的な原因を明らかにすること。
2. 只見線における投排雪保守用車導入以降、雪を抱えて停車する事象が多数発生していることについて検証結果を明らかにすると共に、除雪体制及び除雪方法を見直すこと。
3. 1月14日に発生した長岡車両センター構内における４２３Ｍ、４２５Ｍ、４２７Ｍ、１７２２Ｍ、１７２４Ｍ及び１３２６Ｍが出区できなかった原因と対策を明らかにすること。
4. 1月17日に発生した１２１Ｄ越後川口発車後雪を抱えて停車した事象を踏まえて、上越線越後川口駅飯山本線から上越線への渡り線の除雪方法を見直すこと。
5. 1月14日、越後線吉田～柏崎間の雪害による輸送障害についての課題・教訓を明らかにすると共に、乗務員による前途運行不能の判断を超えて運行継続指示を行った理由を明らかにすること。

【車両関係】
1. Ｅ１２９系Ａ－26編成の雪用ワイパーの検証方法と検証結果を明らかにすること。
2. Ｅ１２９系信越本線下り鯨波～柏崎駅間のセクションで発生するＶＶＶＦ重故障や○ＶＤ点灯の原因を明らかにするとともに対策を講じること。
3. Ｅ１２９系ディスクブレーキ凍結対策を講じること。
4. ブレーキ効果確認の為Ｅ１２９系運転台前面に電気ブレーキＮＦＢを設置すること。また、勾配起動スイッチを走行中に使用できるようにすること。
5. 1月23日小針駅構内で発生したＥ１２９系のブレーキ不緩解の原因と対策を明らかにすること。
6. Ｅ１２９系のパンタグラフを大量積雪状態でもパンタグラフが降下できるよう対策を施すこと。
7. Ｅ１２９系車両の前面ガラスを強化、もしくは鉄格子を設置すること。
8. 羽越本線で行ったＥ６５３系窓ガラス破損対策の成果を明らかにすると共に、２０１７年度冬期に向けた課題を明らかにすること。

【設備関係】
1. 白新線早通～豊栄駅間下り第1閉そく信号機の着雪対策を万全とすること。
2. 1月14日の越後川口駅構内における投排雪保守用車の入換えにおいて、装置の故障により絶縁から短絡に切り替わった原因と対策を明らかにすること。
3. 降雪が予想される場合、消雪設備が稼働するよう作業停電による作業を中止すること。
4. トロリ線塗油、ビーム除雪を競合作業の扱いで投排雪保守用車と同じ間合いで作業できるようにすること。
5. 浦佐駅下り場内信号機付近新幹線高架橋から水が垂れて在来線架線に付着し、架線凍結している状況を改善すること。
6. 冬期間、えちごトキめき鉄道直江津運転センター乗務員休養管理室に暖房を入れておくこと。また乗務員への防寒対策を明らかにすること。

長野地方本部で JR採用者2名が加入！

6月1日付
新たな仲間とともにがんばろう！！

新潟支部チームが優勝！

地本主催 交流野球大会

新潟地本は5月22・23日の両日にわたり、魚沼市・大原運動公園内のベーマガＳＴＡＤＩＵＭにおいて交流野球大会を開催しました。

新潟地本内の各チームに加え千葉、横浜、長野地本など総勢６チームが出場しました。

初日の22日は２つの会場で予選の計６試合を行い、２戦全勝の千葉地本がトップに立ちました。

新潟、長岡両支部はともに１勝１敗とし、揃って２日目に駒を進めました。

２日目の23日に行った決勝戦は、千葉地本対新潟支部で行い、新潟支部が前日無敗の強敵・千葉地本に勝利して見事優勝を果たしました。

３位決定戦は長野地本対長岡支部で行われ、長岡支部が苦しみながらも勝利し、地元チームとしての意地を見せました。

最後は参加者全員で集合写真を撮影し、笑顔で大会を終了しました。